

한통련 뉴스레터

제47호

発行:在日韓国民主統一連合(韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

정세 情勢

●梨泰院惨事49日を迎え追悼行事…遺族ら国家責任の認定と大統領の公式謝罪を要求



追悼行事を終えた参列者と遺族が大統領府に向け行進している

158人が亡くなった梨泰院惨事から49日目となる12月16日、遺族と市民や宗教団体などによる追悼行事が行われた。ソウルでは最低気温が氷点下11度に達する寒波のなか、市民たちは追悼行事に参加するために梨泰院駅の1番出口前に続々と集まった。

「遺族協議会」と195の市民社会団体で構成された「市民対策会議」が主催した追悼行事は、韓国キリスト教会協議会、円仏教、カトリック、大韓仏教曹溪宗の4つの宗教儀式で始まり、遺族らが犠牲となった自分の家族に向け手紙を読み上げるなどしたほか、国民に向け「私たちに忘れないでください」と呼びかけ、政府に対し事故の真相究明と責任の追及を訴えた。

この日の追悼行事には、「共に民主党」の李在明(イ・ジェミョン)代表と正義党の李貞味(イ・ジョンミ)代表が参加。前日、国政課題点検会議でも惨事に関して何の言及もしなかった尹錫悦(ユン・ソン

ニョル)大統領は、この日も直接謝罪などのメッセージは出さないまま、他の行事に参加した。

遺族らは追悼行事のあと、龍山の大統領室に向かって行進しようとしたが、警察に阻止され、遺族たちは「大統領室に要求書を渡したい。惨事の当日、警察は何をしていたのか」と問い詰めた。その後、遺族代表だけが大統領室に国家責任の認定と大統領の公式謝罪などを盛り込んだ要求書を渡した。

一方、市民対策会議は△国家の責任認定および大統領の公式謝罪△真相究明過程への被害者の参加△責任者の処罰△梨泰院惨事の追悼空間と被害者総合支援対策づくり△2次加害防止対策△再発防止および安全社会対策づくりなどを求めるとし、「事故の真相究明と責任者の処罰、再発防止のための署名運動を展開する」と明らかにした。

政府は惨事の責任をおもに龍山区の区長、警察、消防の次元で負わせることで事態を收拾しようとしている。国会では、責任部署である行政安全部の李祥敏(イ・サンミン)長官の罷免決議に対し、与党「国民の力」は反発し、梨泰院惨事の国政調査から脱退すると一方的に脅した。

セウォル号惨事への誤った対応が地下水脈となりながら、キャンドル市民革命により朴槿恵大統領は退陣へと追い込まれた。尹大統領への教訓だ。

●日本政府が安保3文書改定、「敵基地攻撃能力」明記…韓国政府、「協議可能」と理解



臨時閣議に向かう岸田首相

日本政府は12月16日、国家安全保障会議（NSC）と臨時閣議を開き、外交・安全保障の基本方針となる「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」の3文書を改定した。敵のミサイル基地をたたく「反撃能力」（敵基地攻撃能力）保有を明記、能力行使のために米国製巡航ミサイル「トマホーク」の配備を打ち出した。また、2027年度に軍事費とその関連予算を合わせ現在の国内総生産（GDP）の2%にすると明示、軍事費は2023～2027年度の5年間で総額43兆円、大增額の方針を決めた。中国と朝鮮を「仮想敵国」として警戒、これまでの「専守防衛」の安保政策を大転換した。

安全保障関連3文書の改定に対し、バイデン米大統領は16日、「地域の平和と繁栄への日本の貢献を歓迎する」とツイート、中国外務省の汪文斌副報道局長は「中国の脅威を軍拡の言い訳にしている」と強く反発。朝鮮外務省も20日、「侵略路線の公式化」と反発した。

3文書では、「反撃能力」は2015年

に成立が強行された安保法制で可能になった集団的自衛権の行使の際にも発動されることが明確になった。つまり、米国が始めた戦争で、日本は武力攻撃を受けていなくても、自衛隊が米軍を支援するため相手国領内に敵基地攻撃ができるようになる。また、敵基地攻撃は日本単独ではなく米日共同で行うとしており、日本が米国の軍事戦略に追従し、米軍指揮下で米日が一体となって敵基地攻撃を行うことになる。

さらに日本政府は、「日本が北朝鮮（※正しくは朝鮮）に反撃能力を行使する場合、韓国政府と協議するのか」との韓国メディアの質問に、「反撃能力の行使は日本の自衛権の行使であり、他国の許可を得るものではない。日本が自主的に判断する」と答えた。自衛隊の韓国進入を当然視し韓国の主権を否定する問題発言だが、韓国政府は「韓米日安保協力の大きな枠のなかで、論議可能な内容」と受け止め、「日本政府は自国防衛のための悩みが深いのでは」と日本を理解する姿勢まで示した。日本政府は独島領有権の主張も文書に織り込んだ。

韓国政府は東アジアの安保環境を大転換する日本の危険な動向に対し、曖昧な姿勢を取ってはならない。厳しく批判すべきである。現在のように無条件に米国に追従し日本と協力する姿勢を維持、継続すれば、朝鮮半島と東アジアにおける戦争の危機をいままで以上に増大させながら、究極的には自らの自主性を失い米日の後ろを追い続けるだけとなるだろう。

활동보고 活動報告

●東京で「私はチョソンサラムです」上映会を開催…キム・チョルミン監督が3年ぶりに来日

在日同胞の姿を描いたドキュメンタリー映画「私はチョソンサラムです」の東京上映会が12月6日、都内で開催された。主催は有志によって構成された実行委員会、「韓国良心囚を支援する会全国会議」が後援した。今回の上映会には同映画のキム・チョルミン監督が3年ぶりに来日し、

トークショーに参加した。

映画上映後、キム・チョルミン監督と出演者である韓統連大阪本部の金昌五（キム・チャンオ）副代表委員、韓国問題研究所の康宗憲（カン・ジョンホン）代表、「こっぽんおり」事務局の朴錦淑（パク・クムスク）氏によるトークショーを開催。



トークショーで発言する金昌五副代表委員

キム監督は韓国での反応について「在日同胞について知らなかった人が多く、『これ

まで在日同胞のことを知らずに申し訳ない気持ちになった』『統一問題についてもっと考えていきたい』など、肯定的な反応がとても多かった」と語った。他の登壇者からは、民族教育の意義、獄中生活から得た社会変革への意思、在日同胞の運命と祖国のつながりなど、多彩な意見を交わした。まとめとしてキム監督は「在日同胞との出会いを通じて、民族のこと、祖国のことを深く考えるようになった。これからも同胞とともに、この社会をよくするため、祖国の統一のため頑張っていきたい」と語った。

●日本政府、安保3文書閣議決定の強行姿勢…敵基地攻撃能力保有・大軍拡に怒りの声



首相官邸前で抗議する参加者たち

日本政府は朝鮮や中国を一方向的に仮想敵国と決めつけたうえで、歴代政権が違憲としてきた敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有を正当化し、5年間で総額43兆円もの軍事費増額を盛り込んだ安保3文書（「国家安全保障戦略」「国家防衛戦略」「防衛力整備計画」）の閣議決定を12月第3週内（16日を想定）に強行しようとしている。

国会周辺では市民の緊急抗議行動が続く中、「大軍拡ごり押し閣議決定にNO! 12・9官邸前アクション～壊憲・戦争増税・ミサイル大量導入を許さない」が首相官邸前で展開され、参加した300人（主催者発表）は首相官邸に向けて抗議の声を一斉にあげた。

同行動は「STOP大軍拡アクション」

（島じまスタンディング、大軍拡と基地強化にNO!、アクション2022、ヨコスカ平和船団、非核市民宣言運動・ヨコスカ、武器取引反対ネットワーク・NAJAT）が呼び掛け、約40団体が賛同した。

主催者を代表して、NAJATの杉原浩司氏は「隣国に届く武器を持たないとする専守防衛を壊そうとしている」と批判。社民党の福島みずほ党首（参院議員）は「違憲の集団的自衛権行使と違憲の敵基地攻撃が合わされば、日本が攻められなくても敵基地攻撃することになる。これは誰が考えても先制攻撃だ」と指摘。日本キリスト教協議会の金性済総幹事は「敵基地攻撃の方向は『誰が日本人の敵か』と新たなヘイトスピーチを生む。体を張って止めよう」と訴えた。

また、総がかり行動実行委員会などは15日夜、衆院第2議員会館前で緊急行動を実施。集まった800人（主催者発表）が野党の代表とともに、「戦争へ向かう道を、閣議決定で勝手に決めるな」と怒りの声をあげた。

岸田政権は反対世論を無視して16日、安保3文書を閣議決定した。

● 韓統連広島本部が定期総会を開催…新執行部のもと決意をあらたに



就任あいさつする尹康彦新代表委員

韓統連広島本部は12月11日、広島市西区民文化センターで全国の同志、連帯勢力が集う中、第8期定期総会を開催した。

郭文鎬（カク・ムノ）代表委員が主催者あいさつ。「わが民族の歴史は半万年と言われるが、私はその100分の1の50年間にわたって活動を続けてきた。今回の総会を契機に代表委員を辞することとなるが、これからも継続して自主・民主・統一運動を多方面から支え一緒に闘っていきたい」と表明した。

総会議長が選出され、この間の総括と方針が確定し、当面の活動として韓統連広島セミナーや映画「私はチョンサムです」の上映会を予定していることが報告された。

人事では尹康彦（ユン・ガンオン）代表委員、朴隆宏（パク・ユンゲン）副代表委員が選出されるとともに、常任顧問として郭文鎬氏を推戴、事務局長として陳龍治（チン・ヨンチ）氏が認順された。

尹新代表は就任挨拶を通して、今年の光復節にソウルで開かれた統一大会に参加した在日青年の言葉「統一した祖国で会いましょう」を紹介しながら、在日同胞の存在が祖国統一の希望であること強調した。その上で「今日を契機に新しい決意をもって私自身が希望となれるよう運動を引っ張っていく」と熱い決意を表明し、会場は広島本部の新しい門出を祝う拍手で包まれた。



郭文鎬前代表委員の報告

● 韓統連広島本部がセミナーを開催…朝鮮半島情勢を共有



宋世一委員長の講演

韓統連広島本部は定期総会終了後、同会場で韓統連広島セミナー2022を開催した。

定期総会の報告後、宋世一（ソン・セイ）委員長が講演。講演では「尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権は米国には追従、朝

鮮とは対決、日本には協力する姿勢を無条件に貫いている」と批判し尹政権から民心が離反している原因を明らかにした。

宋委員長はあわせて、韓米日が実質的に軍事同盟化している現状や、韓米関係が「グローバル包括的戦略同盟」として米国の世界戦略に組み込まれている点を指摘。

「朝鮮半島が停戦協定状態という危うい状況の中、核抑止力を強化しようとするのが非常に危険であり、まずは米国が対朝鮮敵視政策を撤回することが必要だ」と語った。韓国国内で開催された全国民衆行動の集会と主張を紹介しながら、国内進歩勢力とともに尹政権の審判闘争に積極的に参与する必要性を訴えた。

●「韓国良心囚を支援する会全国会議」が集約集会を開催…李俊一総務部長が講演



李俊一部長の講演

「韓国人良心囚を支援する会全国会議」は12月14日、都内で「2022年全国運動集約集会」を開催した。

渡辺一夫代表の主催者挨拶の後、韓統連の李俊一（イ・チュニル）総務部長が「激動の南北朝鮮」と題して講演。李部長は今年一年の朝鮮半島情勢について「今年は朝鮮半島の戦争危機が一気に高まった一年で

あり、大きな要因として韓国の政権交代がある」と指摘。「尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権の対米屈従、対日屈辱外交によって、韓米日の軍事同盟が推進され、それに対抗するため朝鮮が核兵力を強化し続けている」と指摘。また、「梨泰院惨事における警察への責任転嫁や労働運動への弾圧など、尹政権の非民主的な政治により国民の不満が爆発しており、大規模な退陣行動が展開されている」と解説。「朝鮮半島の平和と統一のため、尹政権の戦争政策に反対していこう」と語った。

元在日韓国人の鄭勝淵（チョン・スンヨン）氏の連帯あいさつ、尾澤孝司氏の裁判報告に続いて石井寛事務局長から今後の運動に関して発言。在日良心囚の裁判状況を解説しながら「今後積極的に訪韓し、裁判闘争に参加していく」と語った。

●東京民主実践連帯が尹錫悦政権糾弾集会を開催…戦争反対、梨泰院惨事真相究明をアピール



集会後、スローガンを叫ぶ参加者たち

ニューカマー（1965年の韓日条約以降日本に渡ってきた韓国人）による市民団体「東京民主実践連帯」が12月17日、都内の京成上野駅前「尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権糾弾集会」を開催。韓統連・韓青や在日同胞、日本人が有志で参加した。参加者は「尹錫悦政権糾弾」「南北共同宣言支持」「梨泰院惨事真相究明」などのプラカードを掲げ、尹錫悦政権を糾弾するメッセージを発信した。

主催者あいさつ後、韓青の韓成祐（ハ

ン・ソンウ）中央本部委員長が発言。尹政権の朝鮮半島政策について「韓米同盟一辺倒であり、朝鮮半島の軍事緊張を高め続けている。分断イデオロギーを克服し、南北共同宣言に基づいた南北和解・統一を実現しよう」と強調。韓統連の李俊一（イ・チュニル）総務部長は韓日関係について「歴史問題を解決しないままでは、本当の意味での韓日友好はない。日本政府は過去の問題に真摯に向き合い、謝罪と反省を示すべきだ」と強調した。また、日本人を代表し、インターネットメディア「日本のメディアが伝えない週刊韓国ニュース」の西田尚史氏が梨泰院惨事の真相追求を要求した。

実践連帯のペ・ウンミ代表が閉会挨拶。「尹錫悦政権は、梨泰院惨事で守れるはずの国民の命を守らず、その後も謝罪していない。一体誰のための政府か。朝鮮半島に戦争危機を招く米国を追い出し、一つの祖国をつくっていこう」と語った。

■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、講演や集会の写真、動画などは韓統連インスタグラム、韓統連YouTubeチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連



韓統連YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCg_8NZg52O1VTAMIGrXfqIQ

韓統連Instagram

https://www.instagram.com/korea_htr/?hl=ja



韓統連YouTubeチャンネル



韓統連Instagram

행사예정 行事予定

1月

「私はチョソンサラムです」広島上映とトークイベント

日時: 1月28日(土) 第1回上映 午後1時~2時40分 トーク 午後2時50分~4時10分 第2回上映 午後4時30分~6時10分 場所: 広島県立美術館講堂 内容: 映画上映、トークイベント(李哲(イ・チョル) 在日韓国良心囚同友会代表、広島朝鮮初中級学校関係者) 料金: 前売1500円、当日1800円 主催: 映画「私はチョソンサラムです」広島上映実行委員会 連絡先: 090-7540-0332

年末カンパのお願い

いつも韓統連ニュースターをご愛読くださり、ありがとうございます。私たちの活動は、皆様からのカンパで成り立っています。ぜひご協力ください。ご支援いただける方は、下記までご連絡ください。

電話/FAX 03-4362-5284 メール chou@korea-htr.org

ニュースター編集担当 李俊一(イ・チュニル)まで

編集後記

今号で今年のニュースターは最後です。今年は二度の韓国訪問や各地での講演など、活発に活動することができました。尹錫悦政権は一年目から問題続出ですが、私たちの祖国と民族の状況を少しでも良くするために、来年も頑張っていきたいと思えます。みなさま、良いお年を(李)

※今号から文字サイズを10.5ポイントから12ポイントに拡大しました。